

筑波大学山岳科学センター演習林研究計画書

平成 年 月 日

研究代表者氏名	筑波 太郎		
※利用申込代表者氏名（様式1）と研究代表者氏名が同じ場合、以下の記入は不要です			
所属・職名	生命環境科学研究科・教授		
住所	つくば市天王台 1-1-1		
連絡先	TEL	029-853-****	FAX 029-853-****
	E-mail	***@***.tsukuba.ac.jp	

研究課題名	八ヶ岳演習林におけるミズナラ二次林の動態
研究内容（本試験地での研究目的・内容を簡潔にご記入ください）	<p>森林生態系の長期更新動態と生産量を定量化するため、筑波大学山岳科学センター八ヶ岳演習林内のミズナラ二次林に、固定調査区を設定する。八ヶ岳演習林 X 林班のミズナラ二次林に 50m×50m の大きさの固定調査区を設定し、胸高周囲長 Y cm 以上の樹木を対象に、種名と胸高直径・樹高の測定を行なう。調査区内に落葉落枝量を測定するためのリタートラップを設置し、内容物の定期的な測定を行なう。樹木の肥大成長はリター量と同じ期間内に、年に一度 Z 年間行ない、測定期間内の落葉落枝量の測定結果の積み上げから、地上部純一次生産量を推定し、森林生態系が実際に固定したバイオマスの経年変化を把握する。</p>
設置期間	自 平成 年 月 ～ 至 平成 年 月 計 年間
設置場所	※図面に設定予定地を印した上で、本紙に添付してください。
試験地の種類	■新規 □継続 ※■に置換えるかチェックを入れる

《注意》

1. 設置場所は、調査内容を含め事前に現地演習林職員と十分な協議の上、決定願います。
2. 本計画書は、研究に必要な試験地または機材を設置する利用の時のみ、利用申込書と共に提出願います。
3. 試験内容が変更された場合は、速やかに申し出るとともに、再度研究計画書を提出願います。
4. 試験終了後は、研究終了報告書（様式4）を提出願います。
5. 試験終了後は必ず原状回復を行ってください。詳細は演習林利用手引きを参照願います。
6. 設置期間は最長5年間です。ただし、継続を希望される場合は、再度研究計画書を提出願います。
7. 設置期間を超過したにもかかわらず終了または継続の連絡がない場合は、試験地を放棄したものとみなし演習林の裁量で取り扱うものとします。
8. 本紙に記入された研究課題名・研究内容及び設置期間は、案内板として試験地に設置します（氏名その他の情報は掲載しません）。